

初代高橋竹山 没後二十五年記念

# 二代目高橋竹山 津軽三味線演奏会

令和五年

## 四月二十日（木）

会場 十和田市民文化センター 生涯学習ホール

開場 十八時 開演 十八時半

（十和田市西三番町二番一号）

料金／前売 三千二百円、当日 三千七百円（全席自由席 学割・中高大 各千円引）

前売券のお取り扱い／十和田市民文化センター受付にて。もしくは左記から電話予約（当日会場支払）お願いします。

主催・問・電話予約／文化活動団体・大地の眼

電話 090-4609-8397（アケヤマ） 平日受付 18時～21時 土日祝 10時～21時 ✉ eartheye.info@gmail.com

後援／十和田市、十和田市教育委員会、十和田商工会議所

# 演奏者 プロフィール 二代目高橋竹山（津軽三味線・唄）

17才の時、津軽三味線奏者の初代・高橋竹山のレコードを聴いたのがきっかけとなり、18才で竹山の内弟子となる。三味線のみならず、名人・成田雲竹の格調高い津軽民謡も師・竹山から学びながら、高橋竹与（ちくよ）の名で師と共に舞台に立つ。内弟子生活を経て1979年に自立。翌年、初の独演会を東京・渋谷ジアン・ジアンで開く。以後、独自の演奏活動を行いながら、竹山について国内はもとより、アメリカ7都市公演、フランス・パリ公演など海外でも演奏。1995年、師から独立して15年目を迎えたのを期に初のアルバム「津軽三味線とその試み」を発表。竹山との三味線二重奏曲などの他、劇詩人・寺山修司が竹与の為に作詞した曲目など収録。1997年には「高橋竹与」改め「二代目高橋竹山」を襲名。

以来、イギリスのエジンバラ・フェスティバル、アメリカ・ロサンゼルス、ニューヨーク等での公演、2000年から生活の拠点としている新潟県糸魚川市「糸魚川ジオパーク音頭」発表コンサートや、東北各県でのチャリティコンサートなど全国各地をまわり演奏活動を続ける。これまでのおもな共演者に、山下洋輔（ジャズピアニスト）、田中浪（舞踏家）、ギリヤーク尼ヶ崎（大道芸）などがいる。基本を大切にしながら民謡にこだわらず、様々なジャンルの演奏家と共演して活動の場を広げ、独自の音楽表現の模索をつづける。

## 【演奏予定曲】

津軽じょんがら節、津軽山唄、  
ホーハイ節、カムダウンモーゼ（寺山修司作詞）  
ほか



◎ 主催・問・前売予約／大地の眼 TEL 090-4609-8397 (アケヤマ)

※ 電話受付は平日18~21時 土日祝10~21時 メール受付 eartheye.info@gmail.com [f](#) [t](#)

## 【公演にあたっての注意事項】

- お車でお越しの際は文化センターおよび、総合体育センター駐車場（1回200円）を利用し、近隣店舗（ミニストップ等）への無断駐車はご遠慮ください。
- 車椅子席をご希望のかたはご予約の際に事前にお申し出ください。 ● 未就学児入場不可 ● 客席内での飲食・撮影・録音等の行為はご遠慮ください。
- 本公演は、新型コロナウィルス感染予防対策をとったうえで定員（間隔を空けない状態）でチケットを販売します。あらかじめご了承ください。
- 当日はマスクの着用、手指の消毒など感染予防にご協力ください。 ● 発熱等風邪の諸症状あるかたや体調の優れない方はご参加をお控えください。

初代竹山没後25年記念

## 映画 津軽のカマリ 全国キャラバン上映 開催中！

津軽三味線の巨星、故・初代高橋竹山をめぐるドキュメンタリー「津軽のカマリ」キャラバン上映。3月11日、青森津軽を皮切りに、西日本へ大きく移動し、ひと月半かけて再び津軽へ。大西功一監督が車に上映機材を積んで、村から島、町から街へと渡ります。旅芸人高橋竹山と行く50日の旅。

詳細は津軽のカマリホームページ「THEATER」欄にて

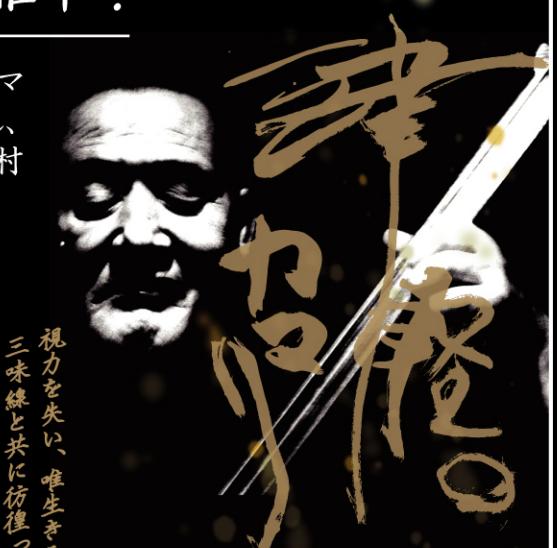
[www.tsugaru-kamari.com](http://www.tsugaru-kamari.com)

### - 青森県内でのおもな上映日程 -

- 4/22（土）青森市・青森松竹アムゼ  
～西川洋子（出演）×大西監督対談有  
4/23（日）金木町・津軽三味線会館～監督トーク有  
4/24（月）むつ市・大安寺～監督トーク有  
4/28（金）八戸市・はっちシアター2  
～監督トーク+松田隆行（謡樂堂）ライブ有  
4/30（日）平内町・勤労青少年ホーム～監督トーク+竹伸介ライブ有



視力を失い、唯生きる為に  
三味線と共に彷徨つた  
高橋竹山と  
苦難の世を渡つた  
名もなき北東北の  
人々の魂が  
三弦の音色とともに蘇る。



出演 初代 高橋竹山 監督・製作・撮影・編集 大西功一  
「スケッチ・オブ・ミラー」

◎ 他の地域・会場でも上映予定あります。詳細はホームページ参照、または上記「大地の眼」までお問合せください。